

1月5日から業務がスタートした本庁舎増築棟。引き続き、平成28年3月まで本庁舎既存棟の改修及び駐車場の整備などが行われます。



市誕生10周年間近！

誰もが住みやすいまちに向け きめ細かな予算編成



開会を告げる
大築 守議長

総括質疑を行った議員



福村 光泰議員 鈴木啓太郎議員 堀口 修一議員



塚越 洋一議員 小高 時男議員 西 和彦議員

平成27年第1回定例会が開催され、当初予算をはじめ、39件の議案が提出されました。本会議では、1時間10分にわたった市長施政方針、それに対する各会派からの質疑、15人の議員による市政に対する一般質問のほか、各常

任委員会での審査を経て、各予算案・各条例案を可決しました。また、追加議案として提出されたふじみ野市立保育所の設置及び管理条例の一部改正の直接請求は、賛成少数で否決されました。（7ページ）

合併特例債

【答】4月中に繰上償還をする場合には1400万円程度の利息軽減を見込んでいる。

【問】合併特例債の活用が多く見込まれている。平成28年度以降を意識しながら、新市建設計画に付随した合併特例期間延長の議論は。

【答】新市建設計画については現在作成中で、予算のヒアリングをしながら事業見込みをしている。合併特例債の発行上限額の272億円に達するかどうか、他の起債に切り替えられるか、起債に頼らないで基金で対応できるものがあるかなど、さまざまな検討が続いている。今後の議会で提案したい。

庁舎間の移動

【問】支所・本庁の連絡パスの今後は。

後年度負担軽減

【問】繰上償還の効果はどの

市税の確保

【問】市税の増収要因は。

【答】戸建て住宅やマンションの建設などの増加によって、個人市民税約5800万円の増収、均等割及び法人税割の納税義務者の増加によって法人市民税約600万円の増収。市税全体では約1億1200万円の増収を見込んでいる。

財政状況

【問】今後の財政状況の見通しは。

延長保育料

【問】公立でも民間でも通常の保育料は一緒だが、延長保育料は異なる。見直しは。

【答】民間保育所における延長保育料の基準となる経費や算出方法が把握できていない。ただし、公立・民間を問わず、入れた園によって負担しなければならぬ経費が違ふというのには好ましくない。民間保育所と話し合いながら、延長保育料単価の見直しを行っていききたい。

遠隔手話通訳

【問】遠隔手話通訳用タブレットが予算計上されている。その役割は。

【答】手話通訳士の資格を持つ正規職員がいるが、ケースワーカーも兼ねてい

ごみの減量

【問】生ごみ処理機の「ペランダーキエーロ」はよい施策。周知は。

【答】平成25年度からモニターの皆さんに実際にご利用いただいていたデータを集め、昨年度から導入となった。200基の設置を目標にしているが、現在165基。環境フェアや産業まつりなどで、さらに周知を図りたい。

東口駅前整備

【問】上福岡駅東口駅前整備の今後は。

【答】平成27年度で建物調査と不動産鑑定が終わる。そして、その結果を踏まえて平成28年度に整備手法の検討に入り、少しずつ手がけていきたい。

◆施政方針に対する質疑

誠風会 福村 光泰議員
信政会 鈴木啓太郎議員
公明党 堀口 修一議員
日本共産党 塚越 洋一議員

◆議案に対する質疑

誠風会 小高 時男議員
信政会 西 和彦議員
公明党 堀口 修一議員
日本共産党 塚越 洋一議員

仙田 定 議員逝去



仙田定議員が、4月10日逝去されました。故仙田議員は、平成23年の初当選以来、市民・都市常任委員会副委員長を務めるなど、市政の発展にご尽力されました。ここに、心からご冥福をお祈りいたします。（故仙田議員の一般質問は11ページに掲載しています）

平成27年度 一般会計予算 380億6129万円 前年度比 15億617万円減

収入	主なもの	支出
市税 153億5398万円 所得・土地・家屋・たばこ等に対する税 前年度比 1億1249万円増	人件費 56億3321万円 職員の給与など 前年度比 7473万円増	
地方消費税交付金 14億8700万円 消費税の市への割り当て分 前年度比 5億1800万円増	扶助費 87億8797万円 生活援助に要する経費 前年度比 7億9037万円増	
地方交付税 33億円 国からもらうお金 前年度比 5000万円減	公債費 32億9725万円 借入れの返済 前年度比 3億5332万円増	
繰入金 21億9407万円 基金からの繰入れ 前年度比 10億596万円増	普通建設事業費 59億8845万円 建設に関する費用 前年度比 32億2240万円減	
建設に係る事業債 34億2830万円 建設に関する借入れ 前年度比 13億2920万円減	繰出金 27億9683万円 特別会計への繰出し 前年度比 7億6414万円減	

平成27年度一般会計 予算案の特徴

当初予算は前年度比3.8%減の約380億円となりましたが、広域ごみ処理施設整備事業等の予算前倒し分の約34億円を考慮すると、その実態として過去最大規模の予算編成です。施策別に見ると、市誕生10周年記念事業費をはじめ、民間保育園整備費補助や児童発育・発達支援センターの運営経費、単身高齢世帯対策や福祉総合支援事業など、子どもから高齢者に至るまで、きめ細かな予算編成となっています。